

科目名	単位数	学年	クラス
古典B	2単位	3年	3年A型

1、概要及び目標

国語を的確に理解し、適切に表現するために必要な知識、技能を身につけさせるとともに、言語に対する関心を高め、現代の国語、特に古典読解の向上を図る態度を育てる。また、生徒の進路に応じて弾力的に授業ができるようにする。

- ① 1・2学年で学んだ古典学習の総復習をし、センター試験に対応できる実践力を養成する。
- ② 適切な話し言葉、効果的な話し方、文章の書き方などを身に付け、語彙力や漢字の読み書きの能力向上を目的とする。

2、評価の観点及び評価方法

評価の観点

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く・書く能力	読む能力・国語的な知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解するとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取る。 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。 表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	評価方法	評価方法
・授業態度、課題への取り組み方、提出物、出席状況等で評価する。	・発表、実践（作文・面接演習電話の対応等）で評価する。	・発表や定期考査、小テスト等で評価する。

上記の評価の観点を踏まえ次のような配分で総合評価を行う。

読む能力・国語的知識・理解	関心・意欲・態度・話す・聞く・書く能力
定期テスト・小テスト	出席状況・授業態度・取り組み意欲・ノートや宿題等の提出
70 %	30 %

3、使用教科書教材等

- ① 『新編古典B 改訂版』大修館書店
- ② その他、ワークシートなど

4, 授業の展開と形態

令和5年度は、1クラス2展開で実施する。

5, 学習方法

授業は集中して聞き、担当者の授業内容の理解に務め、テキスト等の課題を解いていく。疑問点は曖昧にせず、質問すること。実社会において必要な素養として身につけるべき学習内容なので、学習後は普段の生活をとおして実践に心掛けること。復習は実技演習等を想定して行うとよい。

6, その他：履修上の留意点等

単位数の少ない科目なので、勤怠状況には気をつけること。試験はもちろんのこと、小テスト、実技テストは必ず受け、提出物も期限厳守で忘れずに提出すること。

様式3 シラバス 年間計画

月	週	配当 時間	単元名 小項目	学習内容	到達目標 (指導目標)	評価	
						発表、提出等	テスト等
4		6	沙石集 宇治拾遺 物語 今昔物語 集 表現編	・既習の古典学習 の総復習 ・文語文法 ・古語の理解	・語彙、文法、基本事項を 復習する。 ・これまで学習してきた 文学史的事項を体系的に 学習し、古典常識の理解 に努める。 ・基礎的な文語文法につ いて、品詞や敬語等の問題 演習を通して理解する。 ・誤用の多い古語にも触れ、 読解力向上に役立てる。	ワークシート	
5		8 1	枕草子	・既習の古典学習 の総復習	・語彙、文法、基本事項を 復習する。 ・助動詞や敬語表現につ いて、問題演習を通して理解 する。 ・当時の人々や社会情勢に ついて理解する。	ワークシート	中間考査
6		8	逸話	・既習の古典学習 の総復習 ・故事成語	・語彙、文法、基本事項を 復習する。 ・正確な訓読ができるよ うにする。 ・登場人物の生き方につ	ワークシート	

				<ul style="list-style-type: none"> ・ 史伝 	<p>て考え、それぞれの話の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要漢字、再読文字、句型に関する理解を深める。 		<p>期末考査</p>
7	6	大鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習 ・ 歴史物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、副読本より実践的な問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 助動詞、助詞、敬語表現について復習する。 ・ 登場人物の行動や心情に注意し、当時の人々の生活概要について理解を深める。 	副読本 ワークシート	<p>夏期休暇</p>	
9	8	三国志	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習 ・ 四字熟語 ・ 古文漢文の基本的語彙 ・ 故事成語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、実践的な問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 四字熟語の意味や成立の経緯に触れ、学習や日常生活に役立てる。 ・ 類義語や対義語を用いて、古文・漢文の語彙を増やす。 ・ 故事成語の成立について本文で読解し、現在における意味や用法を理解する。 	副読本 ワークシート		

10	8	蜻蛉日記	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習（センター演習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、入試レベルの問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 古文の読解 ・ 読み誤りやすいポイントを指摘する。 ・ 漢文の読解 ・ 登場人物の人物像や心情について考える。 ・ 貴族社会の教養や社会情勢を理解する。 ・ 古代中国のさまざまな思想を読み取り、人間について思索を深める。 	副読本 ワークシート	中間考査	
11	10	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習（センター演習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文の読解 ・ 漢文の読解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、入試レベルの問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 読み誤りやすいポイントを指摘する。 ・ 登場人物の人物像や心情について考える。 ・ 敬語がどのような機能を果たしているか、理解を深める。 ・ 主題を考察し、国や時代を超えて相通じるものはないか考える。 	副読本 ワークシート	期末考査

12		6	発展編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習（センター演習） ・ 古文の読解 ・ 漢文の読解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、入試レベルの問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 読み誤りやすいポイントを指摘する。 ・ 登場人物の人物像や心情について考える。 ・ 俳諧作品の特色や意義、作品の背後を支える文化状況についての知識を整理する。 	副読本 ワークシート	
1		5	発展編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副読本を使った問題演習（センター演習） ・ 古文の読解 ・ 漢文の読解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法事項を理解し、入試レベルの問題に挑戦する。 ・ 話のすじをおさえる。 ・ 読み誤りやすいポイントを指摘する。 ・ 登場人物の人物像や心情について考える。 ・ 上代、中世、近世、近代の時代性を確認する。 ・ 日本の文化と中国の文化の関係について確認する。 	副読本 ワークシート	学年末考査